

第2回 南アルプス市総合計画審議会 議事録

日時： 令和5年11月27日(月) 午後7時30分

場所： 南アルプス市役所 本庁3階 大会議室

出席： 17名

欠席： 6名

事務局： 南アルプス市(内田副市長、櫻本総合政策部長、依田総合政策部理事 他2名)
公益財団法人山梨総合研究所

(次 第)

1. 開 会

2. 副市長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 議 事

(1) 市民意識調査(アンケート)結果概要について

(2) 各施策の現状と課題について

(3) 政策ごとの課題について

(4) その他

5. その他

6. 閉 会

(配布資料)

(1) 第2次総合計画検証結果

及び第3次総合計画策定に関する市民アンケート報告書(案)概要

(2) 第2次総合計画検証結果

及び第3次総合計画策定に関する市民アンケート報告書(案)

1. 開会

中澤副会長:第2回南アルプス市総合計画審議会にお集まりいただき、感謝申し上げます。

前は、第3次総合計画策定に向けてのアンケート調査の内容確認を行った。今回は、その結果についての協議を行う。現状の把握、あるいは課題の洗い出し、あるいはこれからの方向性を全体・性別・年代と細かく集計されている。集計結果はグラフを用いて可視化することで非常にわかりやすい資料となっている。それぞれの立場からご意見等あるかと思う。限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をいただき、第3次南アルプス市総合計画がより有意義なものとなるようご協力をお願いし、開会とする。

2. 副市長あいさつ

内田副市長:第1回南アルプス市総合計画審議会において、市長より総合計画の重要性を説明いただいているかと思う。合併から20年、その先の10年、南アルプス市にとって非常に重要な時期である。今後の南アルプス市は、企業等の参入を控え、まちが元気になる、発展していく可能性があるまちである。総合計画は、これからの10年間に於いて南アルプス市が発展するための最高計画として皆様からご意見をいただきながら策定していくことになる。夢のような部分も大事ではあるが、現実的に南アルプス市の置かれている立場から10年後の今、人口がどのようにになっているのか、高齢化率がどのようにになっているのか、子育て政策は充実していったのか、南アルプス市全体を見て今後どのように成長していかなければいけないのか見定めることが大事になってくる。今、あらためてまちづくりを見直す中で更に発展できるよう皆様のご意見を踏まえた素晴らしい総合計画ができることを期待している。本日は2回目の会議となる。皆様から忌憚のないご意見を願います。

3. 会長あいさつ

今井会長:第3次南アルプス市総合計画は、山梨総合研究所が策定のお手伝いをしている。私は山梨総合研究所の理事長を務めている。山梨総合研究所内のプロジェクトの中でも重要な案件という認識である。先日は、南アルプス市議会議員の皆様にご挨拶についてお話をさせていただいた。手前味噌ではあるが、非常に根拠に基づいたプロセスになっていると思われる。個人的には総合計画ではあるが前のめりな計画になればよいと感じている。先ほど副会長からお話があったとおり、アンケートの結果とそれに基づいた課題の説明がある。皆様には、ご意見ご質問等あればお聞かせいただきたい。

4. 議事

司 会: 議事進行は、今井会長に願います。

(1) 市民意識調査(アンケート)結果概要について

今井会長: (1) 市民意識調査(アンケート)結果概要について、事務局に説明を求める。

事務局: (資料、第2次総合計画検証結果及び第3次総合計画策定に関する市民アンケート報告書(案)、同概要に基づき説明)

今井会長: 委員から確認事項・質問はあるか。

(発言なし)

(2) 各施策の現状と課題について

(3) 政策ごとの課題について

今井会長: (2)および(3)は内容が重複する部分があるので一括で事務局より説明を求める。

事務局: (資料、第2次総合計画検証結果及び第3次総合計画策定に関する市民アンケート報告書(案)、同概要に基づき説明)

今井会長: まずは政策1について発言を求める。

今井会長: 自治会連合会の代表の方から何かあるか。

横森委員: 加入世帯7割で横ばいという低い数値を思い知らされた。上高砂区でも新しく住宅ができても組に入らない、今までの加入者が抜けるなどがあった。また、コロナが明けて自治会活動を再開しても、お祭り等の参加者が増えなかった。役員の意識も変化しており、新しい住民が多い中、面倒なことはしないと考える方もいるので、コミュニティが崩壊する危機感を感じている。どうしたら自治会の体制が維持できるのかが分からない状況である。皆様に頼られる自治会というか、一緒に活動ができればよいと考える。

深澤委員: 自治会の加入促進を働き掛けているが、現状は中々進まない。加入世帯7割は不足と感じる。どうしたら住民が自治会活動に参加するか。コロナ禍でイベントができなかったので、運動会に変わりスポーツイベントを開催するなど、若い世代からお年寄りまで参加できるような新たな取組を行っており、そうした活動を進めている状況である。

今井会長: 芦安地区でも、そうした地域での自治会活動をしていると聞いているが。

宇野委員: お祭りは再開し、運動会なども行っているが、自治会というよりも地域の方が中心となり、自治会はそれに協力している形である。

今井会長: 政策2について発言を求める。

久保田委員: 女性でも自治会の区長や役員になれるようにと一言申し上げさせていただく。中々女性の意見が反映されないと感じている。自治会に女性が参加できるように、男性からも後押しをしてほしい。新しい風が吹けば地域が発展すると考える。また女性も輝くと感じています。

戸澤委員: 女性消防団の結成が中々できない。地域の消防団の人数が少なくても、女性は手を挙げない。自分自身も高齢なので、できれば40代~50代の女性に活躍していただきたい。

今井会長: 政策3について発言を求める。

中澤副会長:全国的に農業の取り巻く情勢は厳しい。山梨の農業はそうでないと考えたいが、果樹についても後継者不足で年2~3%は減少している。農協でも令和6年に農業法人を立ち上げることを起爆剤として、新規就農者を増やし、減少に歯止めを掛けたいと考えている。すべての地域を開発できないので、開発する地域と守る地域を分けておく必要がある。

沢登委員:市内でも有休農地が増加している。来年には止めてしまうような高齢農家から農地を継承できるよう、若者の育成が必要である。今は農地取得の下限面積が撤廃され、誰でも農地を取得し、農家を始めることができる。小規模であっても、新規就農を始めていただき、活性化に繋げていただきたい。

今井会長:産業・観光について如何か。

竹野委員:観光の課題は通年観光、特に冬場の観光資源がない。本市の果樹観光は、春から秋がシーズンの中心であり、冬はハウス栽培があるものの、いかに通年での観光コンテンツを多方面と連携して作っていくかが課題と考える。また、入込客数について、令和2年度からデータを取っていないということだと思うが、中部横断道の開通で県外からの来訪者は増えている印象であるが、今後コストコへの流入客を市内へどう還元させるかが課題と考える。

折居委員:有休農地を活用する方法はないのか。管理されておらず長年荒れている農地から虫が発生するなどしている。企業誘致で大きな企業を誘致することは良いが、安全性を考えると、大手企業の重要部門を誘致出来たらよいと考える。それにより周辺がまた発展する。

今井会長:政策4について発言を求める。

芦澤委員:アンケート結果、成果指標は非常に納得できるものであった。課題についてもそのとおりだと感じる。その中で、生涯学習・スポーツを行っている市民の割合の話があったが、地域コミュニティと密接な関係があり、特に若い世代が中心に活動すると、活発になるのではないかと感じている。南アルプスには世界に誇れる文化財がある。学芸員も人材が揃っていて学校現場で活用し成果を上げているので、もっと市民に広めていただきたい。学校教育・社会教育について、3年間のコロナの影響は非常に大きい。そこから戻りつつあるが、子ども同士のコミュニケーションを図ることを非常に苦慮している。学校現場も一人一台端末を整備して、学習の手法も変化している。小中一貫教育を市の方で進めていただいております、合わせてコミュニティスクールへの移行の話もあった。地域で育てる子ども達ということで、地域も学校も同じ方へ向いて進んで行けたらと考える。最後に、地域の防災拠点としての学校施設とあるが非常に大切と考える。小学校高学年から中学生においては共助の担い手の意識化につながるのではないかと。また、地域との連携で防災拠点としての学校はどうあるべきかを考えることが重要である。

今井会長:政策5について発言を求める。

(特になし)

(4)その他

今井会長：(4)について、発言をあるか。

竹野委員：農地の問題について、職業別のクロス集計を出して、農家の方がどう考えているか出してはどうか。

事務局：農業者は60数人で分母は少ないがよろしければ、次回クロス集計をお示しする。

竹野委員：この20年間で施策の評価、満足度がどう変わったのか。水や自然といった部分の満足度は高かったが、交通については低い状況であった。一方で、子育て支援関係は充実してきていると感じる。満足度が高いものは継続して、満足度が低いものについて、どう取り組むか考えていくべきである。

今井会長：他に発言をあるか。

(特になし)

今井会長：ありがとうございました。予定されていた議事は全て終了とする。

5. その他

司会：5. その他として、事務局より次回日程についてご案内する。

事務局：次回の審議会は令和6年1月18日(木)を予定している。時間については、本日は午後7時30分開催であったが午後7時からの開催としたい。委員各位にはご予約をお願いしたい。

6. 閉会

司会：新津副会長は欠席につき、事務局より閉会のあいさつを申し上げる。

事務局：(閉会あいさつ)

以上